

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地																											
仙台ウェディングアンド ブライダル専門学校		平成23年12月21日	水口 俊彦	〒983-0863 宮城県仙台市宮城野区車町102-5 (電話) 022-742-5682																											
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地																											
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日	屋間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641																											
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																										
商業実務	商業実務専門課程	ウェディングプランナー科		平成25年文部科学省 告示第2号	-																										
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、ブライダル業界の関連分野において、活躍する人材を育成する為、必要とされる知識と技能を教授する事を目的とする																														
認定年月日	平成31年3月5日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	62	48	53	8	0	0																								
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																									
240人		233人	0人	18人	30人	48人																									
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価は5点法。評価方法は期末試験という形態ではなく、授業内評価																										
長期休み	■学年始:4月1日～4月7日 ■夏季:7月27日～8月23日 ■冬季:12月23日～1月6日 ■学年末:2月22日～3月31日		卒業・進級 条件		本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応、生徒指導、電話対応、三者面談、校内カウンセリング		課外活動		■課外活動の種類 海外研修、ボランティア等 ■サークル活動: 有																										
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) ゲストハウス、ホテル、ヘアメイサロン、ネイルサロン、エステサロン、ドレスショップ、フォトスタジオ等 ■就職指導内容 授業、個人面談、個別相談、履歴書・面接指導等 ■卒業生数 : 80 人 ■就職希望者数 : 70 人 ■就職者数 : 70 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 87.5 % ■その他 ・進学者数: 9人(姉妹校併修コース進学7名、他 進学2名) (令和 元 年度卒業生に関する 令和2年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アシスタントブライダルコーディネーター検定</td> <td>③</td> <td>79人</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>ブライダルプランナー検定</td> <td>③</td> <td>59人</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>レストランサービス技能検定</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>きもの講師2級</td> <td>③</td> <td>51人</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>認定ドレスコーディネーター</td> <td>③</td> <td>82人</td> <td>82人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	アシスタントブライダルコーディネーター検定	③	79人	75人	ブライダルプランナー検定	③	59人	54人	レストランサービス技能検定	③	22人	15人	きもの講師2級	③	51人	51人	認定ドレスコーディネーター	③	82人	82人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																												
アシスタントブライダルコーディネーター検定	③	79人	75人																												
ブライダルプランナー検定	③	59人	54人																												
レストランサービス技能検定	③	22人	15人																												
きもの講師2級	③	51人	51人																												
認定ドレスコーディネーター	③	82人	82人																												
中途退学 の現状	■中途退学者 8名 ■中退率 4% 平成31年4月1日時点において、在学者192名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者184名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 目標喪失・進路変更・家庭事情・身体疾患 ■中退防止・中退者支援のための取組 担当教員、役職者との面談、校内カウンセリング、保護者の方との三者面談、保護者の方との連携入学前オリエンテーション、入学後オリエンテーション「スタートアッププログラム」、後期ミニスタートアッププログラム																														
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 ※有の場合、制度内容を記入 特待生入学制度等 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																														

<p>第三者による 学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 有(無) ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>
<p>当該学科の ホームページ URL</p>	<p>http://www.sanko.ac.jp/sendai-bridal/</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行ない、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に活かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

またより正確にプライダル業界における動向や求められる人材要件を把握するため、生徒の就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を高め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。実習先である企業に対し、アンケート等を実施することにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことによつて得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に活かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによつて教育課程およびシラバスの改善案が作成され、プライダル分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、プライダル分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
小原 義之	全米プライダルコンサルタント協会	令和2年4月1日～令和4年3月31日	①
本川 武志	仙台ターミナルビル株式会社	令和2年4月1日～令和4年3月31日	③
三浦 麻美	森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社	令和2年4月1日～令和4年3月31日	③
小笠原 均	ベルマリエ千登勢	令和2年4月1日～令和4年3月31日	③
岸本 拓也	仙台ウェディングアンドプライダル専門学校 副校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日	
石川 孝紀	仙台ウェディングアンドプライダル専門学校 教務主任	令和2年4月1日～令和4年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、6月)

(開催日時(実績))

第1回 令和1年10月25日 10:30～12:00

第2回 令和2年6月17日 15:00～16:25

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

企業が求める実践力を備えた人材へ向けて「現場が求める社会人基礎力」の育成観点及び今後必要になってくる要素としてコミュニケーションスキルの向上及び、主体性を持ち考え、行動することが必要等の意見について。

⇒対応:各授業での生徒指導方針への追加を実施。

⇒今後の検討課題:今後求められる人材として、変化してくるであろう要素としては、ホスピタリティからセールス力。ニーズの多様化により、SNSや雑誌などで発信される情報に対し敏感にならなければならない。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

基本方針として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎新婦だけではなく、その家族、その人生も幸せにできるNO1のプランナーを育成する」という本校人材育成方針のもと、ブライダル業界等との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実践していくこと。ブライダル業界においては知識と接客力が重要であるということは不変のものであり、双方を兼ね備えることで長く業界で活躍することができ、業界の発展にも繋がっていく。そこから本校教育理念である「技能(知識・技術・理論)」と「心(人間教育・対人基礎力)」の調和をもとに授業計画から本校教員も参加し、「技術・理論の習得レベル」及び「マナー」・「コミュニケーション」など現場に即した内容を検討、そして定期的に授業の振り返りを行い継続的かつ改善工夫を実施している。企業等と連携することで、より早く現場の変化や課題に対しての対応及び教育への反映ができ、本校そして業界の求める「人材の育成」に貢献できると考える。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業科目「インターンシップⅠ～Ⅳ」において2年間の外部実習を通して実施。ブライダル業界において企業の方より、実践力を想定し、現場に関する知識・技術を習得。そして外部実習を通してブライダル業(サービス業)に欠かせない挨拶・マナー・言葉づかいなどの礼節並びに振る舞い・行動など所作を身につける。定期的に授業内での内容・実技試験などを含め、振り返りを実施し、企業様からの評価を成績評価に反映させる。また、定期的に授業シラバスや1年間の流れ・生徒の様子を共有し、改善点等協議している。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップⅠ～Ⅳ	外部実習を通して婚礼の流れを学び、ブライダル業(サービス業)に欠かせない挨拶・マナー・言葉づかいなどの礼節並びに振る舞い・行動など所作を身につける。	仙台ターミナルビル株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、ブライダル業界を担う「素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献できる人材」・「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできるNO1のプランナー」を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規定」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

- ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
- ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「コロナ下におけるブライダル業界について」(連携企業等:全米ブライダルコンサルタント協会 小原義之様)

期間:令和2年5月29日(金) 対象:担任教員14名

内容:オンライン商談 採用動向、今後の業界の動きや働き方

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「ベップトーク研修」(連携企業等:一般社団法人日本ベップトーク普及協会)

期間:令和元年8月23日(金) 対象:担任教員10名

内容:元気・活気・勇気を与えるトーク術

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「昨今の婚礼事情と教育現場に求めること」(連携企業等:ブライダルコンサルタント 和田靖子様)

期間:令和2年8月21日(金) 対象:担任教員14名

内容:クラスター別結婚志望率について、プランナーに求める要素について、目標達成継続の為に大事にしていること

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「リーダーシップ開発研修～説得力～」(連携企業等:株式会社ウィルシールド)

期間:令和2年8月6日(木) 対象:担任教員14名

内容:“意図的に”教育することの必要性を体感する

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施すること」を基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	(11) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

(3) 教育活動

【意見】社会人になって特に新人はメンタル面に問題があり、辞めてしまう場合が多い。学校では技術だけでなく、メンタル面を強くする指導を行ってほしい。

【活用状況】業界の動向や求められている人材を常に教員が研修などで把握し、育成していく。また行事などを通しメンタル面の強化も行っていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
宮下有裕	株式会社 共立メンテナンス	令和2年4月1日～令和3年3月31日	企業等委員
加藤 竜次	株式会社 カーム	令和2年4月1日～令和3年3月31日	業界団体
丹野 浩幸	有限会社 アトランティス	令和2年4月1日～令和3年3月31日	企業等委員
早坂 彩	卒業生	令和2年4月1日～令和3年3月31日	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())
<https://www.sanko.ac.jp/sendai-bridal/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2) 各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、目指すべき人材像、取得可能資格、就職実績
(3) 教職員	教員数、組織、専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())
<https://www.sanko.ac.jp/sendai-bridal/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ウェディングプランナー科) 令和2年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ブライダル知識Ⅰ	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「アシスタントブライダルコーディネーター検定」取得を目指す。	1年・通	30	2	○			○		○	○	
2		○		パーソナルカラー	ファッションコーディネートの現場で即戦力となれるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付ける。	1年・通	30	2	○			○			○	
3	○			ブライダルビジネスマナー	敬語の使い方、履歴書の書き方やビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1年・通	30	2	○			○			○	
4		○		ベーシックメイク	ベーシックメイク検定対策、基本的なメイクの手順、骨格や肌の構造等を学びフルメイクの基礎メイクテクニックを学ぶ。	1年・通	90	3		○		○			○	○
5		○		パソコン演習	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得。ブライダル業界に必要なパワーポイントや案内状等の作成を学ぶ。	1年・通	60	2		○		○				○
6		○		ブライダルプロジェクトⅠ	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行の全てができるようにする。	1年・通	60	4	○			○			○	
7	○			未来デザインプログラム	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1年・通	30	2	○			○			○	
8		○		パーティプロデュース	挙式・披露宴の進行やテーマウェディングの創り方などを学びます。全体の構成から演出、会場コーディネートまでトータルでプロデュースできる力を養う。	1年・前	30	1		○		○			○	
9		○		フラワーアレンジ	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を学ぶ。	1年・前	45	3	○			○				○
10		○		ドレスデザイン	「認定ドレスコーディネーター」検定の取得を目標にドレススタイリストに必要な技術・知識を学ぶ。	1年・通	60	4	○			○				○
11		○		就職対策Ⅰ	就職活動における知識を学ぶ。	1年・通	30	2	○			○			○	
12		○		ブライダルアナウンス	結婚式の流れを把握し、司会原稿の作り方や司会のやり方を学ぶ。	1年・後	30	1		○		○				○
13		○		パーティサービス	結婚式の披露宴の流れを把握し、料理・コースの流れや品名などを理解する。また、サービスの流れややり方を理解する。	1年・後	30	1		○		○				○
14		○		ブライダルセールス	新規接客・アンケート記入・質問・顧客心理・館内案内・敬語等、設定した客層への対応方法を学ぶ。	1年・通	30	1		○		○			○	
15		○		ペン字	日常的な文字を綺麗に書く事により、履歴書をはじめ、書類を専門的な技術、知識をもって書けるようにする。	1年・前	15	1	○			○				○
16			○	インターンシップⅠ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを現場で学ぶ。またインターンシップを通じ、現場スタッフに必要な実践力を身に付ける。	1年・前	60	2			○		○		○	○
17			○	インターンシップⅡ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを現場で学ぶ。またインターンシップを通じ、現場スタッフに必要な実践力を身に付ける。	1年・後	60	2			○		○		○	○

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ウェディングプランナー科) 令和2年度																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
		○		ブライダル 演習Ⅰ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学ぶ。また演習を通し、現場スタッフに必要な実践力を身に付ける。	1年・前	60	2		○			○	○		
		○		ブライダル 演習Ⅱ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学ぶ。また演習を通し、現場スタッフに必要な実践力を身に付ける。	1年・後	60	2		○			○	○		
		○		プレゼン・ コミュニ ケーション	社会人になるにあたり必要なプレゼン能力・コミュニケーション能力を高める。	1年・後	15	1	○			○			○	
		○		ブライダル プランナー 検定Ⅰ	基本的な日米欧のブライダル市場の知識を学び、全米ブライダルコンサルタント協会が認定する「ブライダルプランナー検定2級」取得を目指す。	1年・後	45	3	○			○			○	
		○		アテンダー 実践	プランナー・キャプテン・介添え等の当日の動きと心構えを学び、具体的なアテンド方法をロールプレイングを通して学ぶ。	1年・前	30	2	○			○		○	○	
		○		レストラン サービス検 定対策Ⅰ	国家資格「レストランサービス技能検定3級」取得を目標に「おもてなしの心」を大切にした接客サービスのノウハウや料飲知識・法律を学ぶ。(学科試験対策)	1年・後	30	2	○			○			○	
		○		レストラン サービス演 習Ⅰ	ホテルで働く人のための国家資格「レストランサービス技能検定3級」取得を目標に、適切なサービスを行えるよう、しっかりとした技術を修得する。(実技試験対策)	1年・後	30	1	○			○			○	
		○		ホテル概論 Ⅰ	ホテル業に対する正しい知識を持つことを目的とし、組織や業務の特徴とは何かなどといった基本知識の理解を深め、ホテル産業やホテルという業種に対する深い知識を学ぶ。	1年・後	15	1	○			○			○	
		○		営業ビジネ ススキル	社会人基礎スキルの実践・接客における基本マナー・心をつかむ接客(実践中心)方法を学ぶ。	1年・通	30	1	○			○			○	
		○		リーダー シップ論	チームで成果を出すための理論・人をまとめる力・人を活かす方法論等(理論・ワーク)を学ぶ。	1年・通	60	2	○			○		○		
		○		ブライダル プロジェクトⅡ	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、企画立案施行の全てが出来るようにする。	2年・通	60	4	○			○		○		
		○		ベーシック ヘアアレン ジ	一束やピンニング、ホットカーラーや編み込み等ヘアアレンジの基礎からベーシックなアップスタイルを学ぶ。	2年・通	75	2	○			○		○	○	

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ウェディングプランナー科) 令和2年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○		着付け	着物の基本的な着付・畳み方・帯などの名称を学び、着付検定3級の取得を目指す。	2年・通	75	2		○		○				
		○		映像・WEB	プランナーとしての映像やWEBへのアプローチ方法や打ち合わせ方法やそれぞれのプロのテクニックを学ぶ。	2年・通	60	2		○		○				
	○			ブライダル知識Ⅱ	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「アシスタントブライダルコーディネーター検定」取得を目指す。	2年・通	45	3	○			○				
		○		ブライダル演習Ⅲ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学ぶ。また演習を通し、現場スタッフに必要な実践力を身に付ける。	2年・前	60	2		○		○				
		○		ブライダル演習Ⅳ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学ぶ。また演習を通し、現場スタッフに必要な実践力を身に付ける。	2年・後	60	2		○		○				
			○	インターンシップⅢ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを現場で学ぶ。またインターンシップを通し、現場スタッフに必要な実践力を身に付ける。	2年・前	60	2			○		○		○	○
			○	インターンシップⅣ	挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを現場で学ぶ。またインターンシップを通し、現場スタッフに必要な実践力を身に付ける。	2年・後	60	2			○		○		○	○
		○		ブライダルプランナー検定Ⅱ	基本的な日米欧のブライダル市場の知識を学び、全米ブライダルコンサルタント協会が認定する「ブライダルプランナー検定1級」の取得を目指す。	2年・前	45	3	○			○				
		○		ハウスセールス	接客する際の基礎知識やマナー、館内を案内する際の基本動作などをロールプレイングを通して学ぶ。また、顧客心理やコミュニケーションスキルについてもトレーニングする。	2年・通	60	2		○		○				
		○		オリジナルプランニング	挙式演出やハウス会場をテーマにしたパーティ演出を学ぶ。お客様のオーダーに対して、適切なプランや演出をご提案できるように企画力を養う。	2年・通	60	2		○		○				
		○		ITスキル	ブライダル業界に必要なビジネスメールの送り方を学び、ビジネスメールマナーを習得し、スムーズに業務を進めることのできるテクニックを習得する。	2年・通	75	2		○		○				
		○		ブライダルデザイン	画像処理やデザインを習得し、オリジナルペーパーアイテムなどを制作する技術や会場のトータルコーディネート学ぶ。	2年・通	60	2		○		○				
		○		レストランサービス検定対策Ⅱ	国家資格「レストランサービス技能検定3級」取得を目標に「おもてなしの心」を大切にされた接客サービスのノウハウや料飲知識・法律を学ぶ。(学科試験対策)	2年・前	30	2	○			○				
		○		レストランサービス演習Ⅱ	ホテルで働く人のための国家資格「レストランサービス技能検定3級」取得を目標に、適切なサービスを行えるよう、しっかりとした技術を修得する。(実技試験対策)	2年・通	60	2		○		○				
		○		ホテル概論Ⅱ	ホテル業に対する正しい知識を持つことを目的とし、組織や業務の特徴とは何かなどといった基本知識の理解を深め、ホテル産業やホテルという業種に対する深い知識を学ぶ。	2年・前	15	1	○			○				
		○		ホテルセールス	セールスの基本となるコミュニケーションから、必要書類の作成など販売活動について幅広く学ぶ。また、実践を見据えロールプレイング等も取り入れた授業を展開する。	2年・通	60	2		○		○				

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ウェディングプランナー科) 令和2年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
			○	ホテルプランニング	ホテル業界における正式な接客マナーやホスピタリティについて、実際の事例を参考に学ぶ。また、ホテルならではの演出や披露宴会場をまとめるプランナーの動きも学ぶ。	2年・通	60	2			○			○		
			○	英会話	基本的なコミュニケーションはもちろん、実際のウェディングの現場で使うようなシーンを想定した英会話を、ゲームやロールプレイング等を通して楽しく身につける。	2年・通	60	2			○				○	
			○	心理学	社会人になるにあたり必要なセルフコントロールを学ぶ。	2年・通	30	2	○			○				
			○	空間コーディネート	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ。	2年・通	30	1			○				○	
			○	ブライダルフェア企画・プレゼン	現在のブライダル業界の動向・流行を踏まえ、各会場に合った企画の立案ができ、社内や新郎新婦へ向けての訴求力を高める技術を習得する。	2年・通	75	2			○				○	
			○	就職対策Ⅱ	就職活動における知識を学ぶ。	2年・通	30	2	○			○			○	
			○	撮影基礎演習	ウェディングフォト（婚礼写真）の知識、撮影基礎技術を学び、ウェディングフォトの提案および撮影テクニックを身につける。	1年・後	30	1			○					○
			○	ブライダル撮影演習	撮影基礎演習の応用として、より実践的な撮影を行いながらウェディングフォトに関する専門的な知識・技術を学ぶ。	2年・通	60	2			○					
			○	写真・動画編集	実際に写真や動画の編集を行いながらより高度な写真・動画の編集技術を習得する。	2年・通	60	2			○					
			○	広報スキル	SNSを活用した広報スキルや、写真やイベントを引き立てるコピーライティング、ツールの作成スキルを学ぶ。デザイン制作、写真編集の技術も習得することができる。	2年・通	60	2			○					
合計						55科目	2610単位時間(109単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>インターンシップⅠ～Ⅳに関しては必修科目である。</p> <p>【履修方法】</p> <p>●講義及び演習科目については15時間から30時間の授業をもって1単位とする。実習及び実技科目については30時間から45時間の授業をもって1単位とする。各科目授業内テスト（実技科目の評価方法は実技・筆記テストを原則実施）の100点満点での素点からの5点法による評定とし、「2」以上でその科目の履修と見なす。</p> <p>【進級・卒業要件】</p> <p>●本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。</p>	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。